



雪の残る三段池（1月）

■2024年3月の予定表をお送りします。

1月～2月は雪や降雨もあって、練習量が少なくなりました。3月は月末に京都ジュニアがありますので、練習量を増やしていきたいと思います。この春には中学や高校に進学するジュニアもおおくありますので、ひとつの区切りにはなると思います。悔いの残らないように京都ジュニアにチャレンジしてもらいたいです。

■練習スケジュールについて

3月の選手ナイター練習は、8日（金）から外を使う予定です。例年の気温によると、その辺から暖かくなるようですので…。（気温が低温の場合は、インドアに変更することもあり得ます。）

■令和6年度の取り組みへ

新年度は、高校部のインターハイへの挑戦がまず大きな目標としてあります。その後は、中体連の夏の総体があり、その後も「中学生」の強化が一つのテーマになると思います。現在のところ、具体的な中身は未定ですが、「中学生の強化練習」を別クラスで実施したいと考えています。小学生選手の強化は、これまでと同様に、やっていきますが、各クラスをより少人数にして（現在でもけっこう少人数なのですが）、効果的な練習にしたいと考えております。

■インフルエンザや胃腸風邪に注意！！



練習には多めのドリンク（できればスポーツドリンク）タオルをお忘れなく！手洗いとうがいを励行し、睡眠と食事もしっかり取って、免疫力の低下に注意！

テニスの豆知識 90

■競技人口の確保について

京都府やテニスに限ったことではなく、ジュニアスポーツの競技人口減少が問題だと言われて、ずいぶん時間が経ちました。北部地域でも、かつては賑わっていたバレー・ボーラーや柔剣道は、ほとんど選手が居なくなっています。野球ですら府内では半分に減っているようです。この問題は子供の数が減っていることが何より大きな要因なのですが、そもそも日本人の大人達がスポーツをやらなくなっているという気がします。親がやらないと子供もやりません。（スキーがその代表例）そんな中でもサッカーやバスケットボールのように、一定の人気をキープしているスポーツもあります。やはり、プロや実業団



～大学・高校～小中学生といった、各年代において、みんなが活躍できる環境を、大人たち（競技団体や協会）が大きな視野で考えて作り上げる努力をしてきた、そういうスポーツが、しっかりと生き残っているように思います。逆に、自分のテリトリーを守ることだけを考えているような競技団体がやりそうなことは、なるべく早い段階で、子供たちを自分の専門競技に囲い込むことぐらいで、全体をダイナミックに動かすような視点がありません。そろそろ地方でも、さまざまなスポーツに親しみができる、その中から自分がやりたいと思う競技を選べるような仕組みが必要なのかもしれません。

■今後の公式戦

- ・京都ジュニアテニス選手権 3/26～
- ・全国小学生京都府予選会 3/30～

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ（京都共栄学園内）

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>
代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoei.ed.jp

